

記録写真展 写真が語る70年の歩み

-1枚でたどる、人がいる、手話がある、地域とつなぐ未来への想い-



2026 **9.15** (火) — **9.20** (日) **ギャリエヤマシタ2号館**
11:00~18:00 (最終日は14:00まで)

**入場
無料**

一枚一枚の写真には、多くの人々の想いと歩みが刻まれています。
京都において手話が繋いだ70年の歴史をぜひご覧ください。
日常生活用具（音の情報を光や振動に変換する機器）の展示も行います。



70周年を振り返る記録写真展

記録写真展の目的

本写真展は、一般社団法人京都府聴覚障害者協会70年、京都府手話サークル連絡会50年、京都手話通訳問題研究会50年の歩みを写真で振り返り、その歴史や活動を広く知っていただくことを目的としています。ろう者が歩んできた権利運動や手話普及活動、ろう教育、手話通訳制度の発展などを写真を通して紹介し、「なぜ、ろう運動が必要だったのか」「社会はどのように変わってきたのか」を感じていただける内容となっています。また、手話は誰でも、いつからでも学ぶことができます。手話サークルや地域活動の様子も紹介し、手話や聴覚障害者の活動に興味を持ち、気軽に参加するきっかけとなることを願っています。これまで築かれてきた歴史を未来へつなぎ、互いを理解し支え合う共生社会の実現を目指して、本写真展を開催します。

京都府聴覚障害者協会とは？

ろう者や難聴者が安心して暮らせる地域を目指し、手話の普及や情報保障、交流活動などに取り組んでいる団体です。さまざまな活動を通して、お互いを理解し、誰もが参加しやすい社会づくりを進めています。

京都府手話サークル連絡会とは？

京都府手話サークル連絡会には、現在27の手話サークルが加盟しています。各地域の活動や取り組みを機関紙やチラシなどで他地域に情報を提供して、各サークルがさらに発展していけるように努めています。

京都手話通訳問題研究会とは？

全国手話通訳問題研究会京都支部（京通研）のこと。手話や手話通訳、聴覚障害について学びながら、聴覚障害者福祉の向上と手話通訳者の社会的地位の向上をめざして活動しています。京都府内の地域や専門部で学習会や研修会を行い、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。



ギャリエヤマシタ2号館
「京都市役所前駅ゼスト御池出口」から
徒歩4分

〒604-8081
京都市中京区天性寺前町534-2

[問い合わせ]

一般社団法人京都府聴覚障害者協会法人認可70周年記念事業・京都府手話サークル連絡会創立50周年記念事業及び京都手話通訳問題研究会創立50周年記念事業実行委員会

MAIL 755anniversary@gmail.com

FAX 075 - 841 - 8433

主催

一般社団法人 京都府聴覚障害者協会
京都府手話サークル連絡会
京都手話通訳問題研究会

協力

日本聴力障害新聞編集部
社会福祉法人手話研修センター手話総合資料室
社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会